

町内会事務所は
祝日を除く月曜日～金
曜日の 10 時から 16 時
まで開いています

町内会だより

11 月号

玉川学園町内会
町田市玉川学園 2-19-5
Tel/Fax : 042-725-0438
E-mail: t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp
<http://tamagawagakuen-chonikai.net>

さわやかな秋晴れの中 玉連健康ウォーキングが実施されました

成人部

前日の冷たい秋雨から、さわやかな秋晴れとなった 10 月 8 日の体育の日、玉川学園地区町内会自治会連合会（玉連）主催の「秋の健康ウォーキング」が実施されました。

2 丁目の子ども広場に集合した 140 名は、安全を考慮された道をダリア園を目指して身も心も軽やかに午前 9 時に出発しました。最初の休憩所「ダリア園」では、満開のダリアを初め多くの花々に囲まれて、ゆったりと癒されるように休憩が出来ました。

一つ目の目的地「七国山」では、まちだ育成会の人達が椎茸を栽培しています。その椎茸を販売してもらいました。木の間からスカイツリーがくっきりと見え感動しました。ここから下山して薬師池公園に向かいます。里山の雰囲気を残す素敵な散歩道です。途中の蕎麦畑の白い花（春は菜の花）や農家の庭の柿など印象深く楽しめました。いち早く秋を知らせる大銀杏の黄葉が印象的な薬師池公園（新東京百景・都指定名所）に時間通りの到着。広い公園内で三々五々、美味しいお弁当を頂きました。食後は、町田市フォトサロンの写真展を鑑賞したり、池を巡って自然を満喫して過ごしました。帰路は最短距離を通り、全員無事に玉川学園に帰着しました。

最後に、各自治会の会長さんから温かいお言葉を頂いた事、町内会の幹事の皆さん、幹事の OB・OG の方々に道中支えて頂きました。こうしたイベントはひとりの事故もあってはなりません。高齢の方を考慮し、時間を十分にかけて歩くように計画しました。更に参加の皆さんや上記の皆さんが道中、心を一つにして助け合って歩いてくださったことで、成功出来たと強く感じています。ここに特記して感謝の気持ちにしたいと思います。

（藤村雄一記）



写真上・七国山のソバ畑
写真下・椎茸栽培の説明と販売

歳末の防犯防災対策は万全ですか？

一防犯防災部一

このほど町内会防犯・環境パトロール本年度上半期の参加者の集計がまとまりました。また、町田警察署管内の犯罪被害状況も公表されました。

本年度上半期の町内会防犯・環境パトロール参加者は、八地区合わせて、延べ 782 名でした。昨年同期と比較して約 100 名減となっています（ただし、悪天候などの理由により、実施回数が昨年度より約 10 回減でしたので、一回あたりの参加者数は昨年とほぼ同じです）。

深刻な不況の中で歳末を迎えようとしています。防犯防災対策に万全を期して下さい。防犯環境パトロールにも積極的に参加しましょう。



第四地区・防犯環境パト
ロール中のみなさん

本年 1 月から 9 月までの町田警察署管内における振り込め詐欺等の被害件数は 29 件（昨年同期より 10 件減）、被害総額は約 1 億 3 千万円でした。また、ひったくりの被害は 30 件（昨年より 2 件減）、被害総額は約 126 万円でした。

振り込め詐欺の手口は、息子や孫のフリをする、携帯電話の番号が変わった、医療機関の還付金があるなどといったまじ、お金を振り込ませたり、自宅に現金を取りに来るといふものです。本当に電話番号が変わったのか確認する、留守番電話に設定して折り返しかけ直す、還付金等の話は関係機関に確認する、平素から親子で連絡を取り合う等の対策を心がけて下さい。また、**ひったくりの手口**は、裏通りで下見をし、ほとんどがバイクを利用するもので、被害者の大半は女性および高齢者です。バイクの音が聞こえたら振り返って確認する、自転車の前かごにひったくり防止カバーをつける、歩行時はバッグ等を道路と反対側に持つなどの対策を忘れずに！自転車用「ひったくり防止カバー」（「かごとすっぽりくるみちゃん」）もあります。（問い合わせは警察署または駐在所に）

「秋の子どもまつり」が行われました

青少年部

10 月 28 日、第五小学校体育館を主会場として、恒例の「秋の子どもまつり」が行われました。当日は、小雨まじりの天候にもかかわらず、大勢のお子さんたちが来場し、付き添いの父母、祖父母の方々とともに、ゲームや昔遊び（けん玉、コマ回し、ベーゴマ、あやとり、お手玉）、工作などに挑戦しました。会場の体育館には元気な子どもたちの声が一日中響き、子どもたちだけでなく、付き添い世話役の大人たちも元気をもらった一日でした。



写真左・三玉（みつだま）はむすかしい！
写真右・ベーゴマなら負けないぞ！



クリスマス会だよ 来てね！

青少年部

今年も「クリスマスの集い」を、12 月 15 日（土）、午前 10 時から、さくらんぼホールで開催します。

- プログラムは ① 光のファンタジー
- ② あったか座公演（オリジナルストーリー）
「ネックレスのゆくえ」ークリスマスプレゼントー
- ③ みんなで歌おうクリスマスソング です
- ④ サンタさんからのプレゼント！もあつち
お友達といっしょに、クリスマス



New! 新しい町内会のホームページをどうぞよろしく New!

<http://tamagawagakuen-chonikai.net>

さて..ブラウザを開いたら Google や Yahoo! に「玉川学園町内会」と入れてサーチ！すると..一番に新しい町内会のホームページがバーンと出てきます。さあ..クリックしてアクセス！そして..「お気に入り」にブックマークすると「簡単アクセス！」で次回から手間なしです。

「町内会カテゴリー」メニューは町内会のニュース・主催するイベント情報・活動報告の記事が新しい日付順に並んでいます。「地域のニュース」は町内会がつなぐ情報網です。地域コミュニティのニュースやイベント情報・身近な施設からのお知らせ・ジャンルを問わない町の旬な話題を紹介する「町のニュース」など情報てんこもり！「玉川学園クロニクル」は玉川学園の物語を良く知る方々による月刊連載。月一の更新をお楽しみに！「町内会だより・広報」はプレスアーカイブ。「イベントカレンダー」は町内会のイベントスケジュールが一目瞭然の便利手帳。「便利帳・リンク」は日々の生活必需品です。記事毎にあるコメントで新しい町内会のホームページにご意見・ご感想をどしどし投稿してください。メールは→ ko-ho-bu@tamagawagakuen-chonikai.net にご意見・ご感想をどうぞ。

広報部HP担当（江藏桂）

広報部からのお知らせ

資源回収の報告ー環境部ー

10 月の回収は 101.5 トンでした。資源ゴミは当日朝の 9 時までに出してください。問合せは町内会事務所または大興資源 045-929-4813 まで

おかげさまで、懸案だったホームページのリニューアルがほぼ完成し、みなさまに閲覧していただけるようになりました（利用方法などについては上記紹介記事をご参照下さい）。これにより、地区のニュースや地域の諸団体の活動に関する情報も改善されると期待しています。今後とも、広報部の活動に対する会員のみなさまのご支援、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。（洲）

11 月定例幹事会(11/6)報告ー総務部ー

- 下記の審議事項が承認されました
- 1. 第五小学校 50 周年記念行事への寄付金
- 2. ホームページのリニューアルについて
- 3. 災害時地域住民連絡網構築の件
- 4. 平成 24 年度上期決算報告書

裏面にも各種の案内・お知らせがあります。

*一部ずつお取りください。

西田篤弘さんが文化功労者に！

すでに新聞、テレビなどの報道でご存じと思いますが、このたび、当町内会会員の西田篤弘さん（元宇宙科学研究所所長・現名誉教授）が磁気圏物理学の先駆的学術・探査研究の功績を認められ、本年度文化功労者に選定されました（10月30日）。

西田さんは宇宙空間物理学の専門家。若い時「宇宙や生命の起源」に興味を抱いて研究者の道に進まれ、地球を取り巻く磁気圏のさまざまな現象を理論的に解明する研究を続けてこられました。1992年には、宇宙科学研究所（ISAS、2003年以降は宇宙航空研究開発機構 JAXA の中核部門として存続）と米航空宇宙局（NASA）との間で企画された共同研究の日本側リーダーとして、「ジオテイル」（GEOTAIL 磁気圏尾部観測衛星）の打ち上げに尽力され、磁気圏と太陽風との相互作用によってオーロラなどの現象が起きる仕組みを明らかにされるなど、その研究成果は、国際的にも高く評価されています。

受賞にあたって西田さんは、「研究を通して人と違う視点を持つためには、少しわかったことを掘り下げるだけではなく、関連することをなるべく広く考える姿勢をもつことが大事だ、という信念をもって研究を続け、今日に到った」と、ご自分の研究生活を振り返り、若い研究者たちへの励ましの言葉を述べておられます。

受賞おめでとうございます。

環境部からの報告

—環境部—

1. 「エコフェスタに参加しました」

10月7日、小山田のリサイクルセンターで第21回「町田エコフェスタ」が開催されました。残念なことに雨でしたので、昨年の入場者約17,000人に比べて今年は約9,000人と半数の入場者でした。玉川学園町内会の環境部は例年「スタンプラリー」の係をやっていますが、今年の「スタンプラリー」の参加者は昨年の約半数の213人でした。ただ、参加者が少なかったために、スタンプラリーの賞品に加えておまけの賞品を差し上げたため、参加者からは大変好評だったようです。今年度は雨を想定していなかったために、フリーマーケットに参加された皆さんにはご迷惑をかけてしまいました。来年からは雨も想定して準備をすることになっています。（「環境部の報告」の続きは右欄へ）



スタンプラリーの景品係を担当する環境部の皆さん

2. 「憩いの椅子」

現在、20個の「憩いの椅子」が玉川学園町内会地区内に設置されており、これらの椅子には、「憩いのいす」、「玉川学園町内会」、「お気軽にお休み下さい」および「ナンバープレート」の4枚のプレートが接着されています。しかし、10月11日にこれらの椅子を全て調べたところ、いずれかのプレートが消失している椅子が多く、4枚のプレートが付いている椅子はわずかに2個でした。また、椅子の背当てにこれらのプレートが付いていると、座ったときに違和感を感じるようになりましたので、今回、背当てに貼付されているこれらのプレートをはずすことも含めて、プレートの張り替えを考慮しています。何か良いご意見をお持ちの方は町内会事務所にご連絡下さい。

3. 「環境パトロール」

町内会の地区（8地区あります）毎に、防犯パトロールと共に、環境パトロールを実施しています。道路周辺に落ちていたタバコの吸い殻や空き缶を拾って清掃していますが、参加しているヒト達の会話が弾む、コミュニケーションの場としても機能していますので、是非、多くの方々に参加していただきたいと願っています。月に1回のパトロールですが、地区によっては2回実施しているところもあります。

4. 「違反広告物の除却」

各地区で実施されている防犯・環境パトロールの際に、電柱などに貼付されている違反広告物をチェックするようにして下さい。違反広告物を見つけた場合、違反広告除却員の資格のある方が参加している場合にはその方に除却してもらえますが、参加していない場合には違反広告物を除却しないで（もめることがあるとのことですので）、各地区の違反広告除却員（不明の場合には地区長）に連絡して下さい。この9月に町田市役所道路管理課で違反広告物除却員の資格を取った方々が各地区に少なくとも1人はいますので。

5. 「資源物（古紙、段ボール、古着、ビン、カン）の不正回収」

現在、ほぼ毎週1回の割合で、資源物集積所からの不正回収目撃の連絡が町内会事務所に届いています。玉川学園町内会は、回収を委託している（有限会社）大興資源が毎月町田市役所に届けている資源物の回収重量に基づいて町田市役所から資源回収奨励金をいただいていますので、不正回収量が増えると奨励金が減額されることとなります。この不正回収については、今、町田市役所の環境政策課が取り締まりについて町田警察署との話し合いを進めてくれていますので、もうしばらくお待ち下さい。

なお、不正回収を目撃した場合には、お手数ですが、目撃した日時、場所、回収車の車両番号などを、町内会事務所までお知らせ下さい。不正回収者に直接抗議するのは危険ですから、お控え下さい。

＜よりよい近隣関係を築いていく＞

「近隣の支え合い」で、命を暮らしを守りましょうーと、今春よりスタートした第六地区の「ふれあい安心ネットワーク」の取り組み、今後支部内の班単位、10～20軒くらいでの活動の広がりが望まれますが、町内会非加入の方々への声かけを含め、コミュニケーションをいかに深めていくか・・・その基本になるのは日常的な近隣関係であり、時に難しさも伴います。

これまでの取り組みの中、日頃コミュニケーションがとりにくい方、お会いしにくい方については、旧知の方をお願いし、会話を試みて頂きました。訪問の結果、普段ほとんど家の中にいて外出されることの少ない方が「災害時に気にとめて頂けるなら、そんな有難いことはありません。お世話になります」と頭を下げられたり、日頃の健康状態や暮らしぶりを進んで話して下さる方もあり、まずは「ふれあい」から始まること、ふれあって生まれる「喜び」が互いの「生きる力」になることに気がきます。

＜地道な話し合いを重ね、「共生」の輪を＞

10月の町内会だより配布の折、第六地区では、回覧板の回覧資料に「第六地区各班の皆様へ・・・『近隣の支え合い』で『安心・安全の町』に!! 話し合い、具体的な確認をいたしましょう」と、近隣の方同士で話し合いの機会を持つことを呼びかけました。災害時の安否確認、平時における「さりげない見守り」などの取り組みについて、支部内、班、個人により、意識に温度差があるのは当然のことであり、ともかく「話し合う」ことを積み重ねていく。11月末の拡大地区会に話し合いの結果を持ち寄り、意見交換をいたします。

玉川学園地域を「終の棲家（ついのすみか）」としたいと願う者同士、一人ひとり力を寄せ合うことで、一步一步「共生」の輪を広げて行きたいと考えます。（完）

平成 24 年 10 月 （第六地区長 斎藤 記）